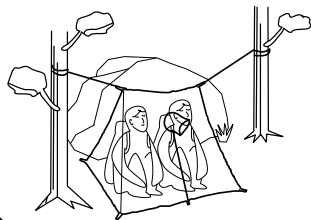


使い方 【ピコシェルター】

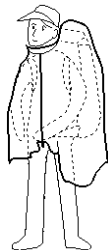


①シェルターとして使用

ビバークを強いられる場合は、まず安全な場所を見つけ、服をすべて着込みます。雨蓋や荷物の一部をお尻に敷き、ザックを背中側において斜面や木立によるかかるとともに、頭からピコシェルターを被ってください。ツェルトと体との間に少しでもクリアランスを確保するのがコツです。手持ちの細引きなどで天頂部を吊り、可能ならばさらに四隅をベグダウンして設営することで、空間が広がり、より快適になります。

③ピコシェルター2つを合わせて使用

ピコシェルターを各自が安全装備として持つことで、2つをつなげて使用することが可能。それぞれ一人ずつビバークするよりも快適になります。ひとつのピコシェルターに足から入り、もう一つを頭からかぶります。ザックや荷物を活用し、ツェルトの布とからだの間にクリアランスを作るのがコツ。横になることも可能です。



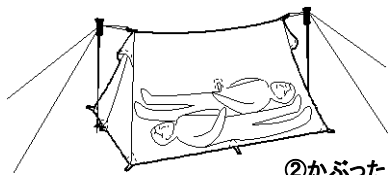
②ポンチョ代わりに使用

ベンチレーターは頭を出すことが可能なサイズのため、ポンチョのように使用することもできます。雨具を忘れた、もしくは失くしたメンバーのための予備として、またプラス一枚の防寒具として雨具の上からかぶっても有効です。



※他にも様々な応用が可能です。ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをお勧めします。

使い方 【ツェルトⅠ、Ⅱ、Ⅱロング】



①ストック・ポール等を利用して設営

居住性重視の最も基本的な設営方法です。積極的にテント代わりに使用する場合などこの方法を使用します。ポールの代わりに直接木などに結び付けてもOK。事前にフロアを閉じてから設営するのがポイントです。 ※設営方法は後述

②かぶったり、包まって使用

設営の必要がなく最も簡単なため、緊急時や、ちょっとした休憩時に風を防ぐための使用方法です。一度に多人数を収容可能です。



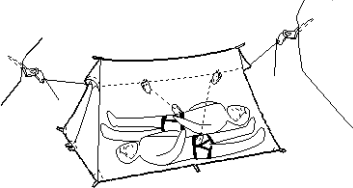
③雪洞のふたとして使用

冬季・残雪期に雪洞泊を行う際も、入口のふたとして使用し簡単に風雪が吹き込むことを防ぐことができます。



④タープとして利用 (ツェルトⅡ、Ⅱロング)

ツェルトの底を開放してタープとして使用することで、広い面積で雨をしのぐことができます。



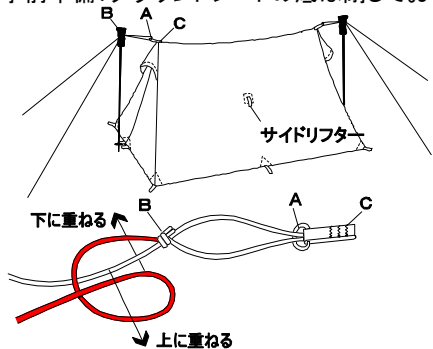
⑤岩場でセルフビレイを取って使用

岩場で張る場合は、ファスナーとメッシュの縫合部に設けた小さな挿入口からツェルト内部にメインロープを通してセルフビレイを取ることが可能です。(ツェルトⅠは片側からのみビレイ可能)

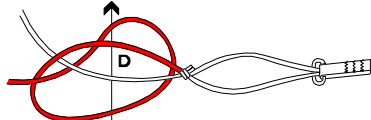
※他にも様々な応用が可能です。ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをお勧めします。

ストック・ポール等を利用して設営する方法

- ・用意するもの: 直径 2mm~3mm 程度の細引き 5m×2本 (Ⅱ、Ⅱロングで居住性をアップさせたい場合はサイドリフター用のコードを推奨)
- ・事前準備: グラウンドシートの底は閉じておく(ピコシェルターはグラウンドシートなし)

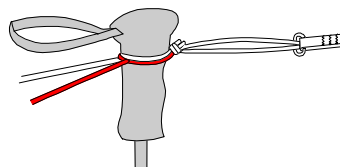


① まず、はじめに5mコードを半分に折り、半折部分をAとし、ツェルト天頂部端のループ位置をC、ストック・ポールを垂直に立てた位置BのAB間の長さのところで、オーバーハンドノットまたはエイトノットで環を作ります。



② 次にツェルト天頂部端のループCに張り綱を固定します。そして図の要領でループを作り、上下に重ね合わせます。
※A~Bのループを除くと、クローブヒッチ(インクノット)と同じ形になります。

③ 重ね合わせたら、2重のループの真ん中Dにストック・ポールを差し入れます。



④ 高さを決定して、2本のコードを引っ張ると完成です。最後にストックの高さを微調整してテンションを整えます。柔らかい雪面であればグリップを上にする、ストックが沈みません。硬い地面であれば、ストックを逆さまにして石突を下から差し入れても利用できます。
※ベグダウンする各末端では、市販の自在を使用するか、自在結び等で対処してください。

保管の方法

- 汚れや濡れたままで保管すると、カビが発生して生地とコーティングに悪影響を与えます。
- 必ず汚れは真水で落とし、陰干しで充分乾燥させてから保管してください。

⚠ 注意

- 本品は非常時の露営や休憩時等の使用を目的とした簡易テントであり、自立する山岳テントのような移住性と耐久性、防水性、抗雪性等を求めたものではありません。したがって設営の際は、風雨、風雪の影響を受け難い場所を選んで、安全に注意して活用してください。
- ツェルト内、雪洞内では換気を行ってください。火気取り扱いの際には充分注意してください。
- 縫い目のシームテープ加工は施されていません。表生地側に市販されている一般的なシームコート剤を使用することは可能です。
- ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをお勧めします。